

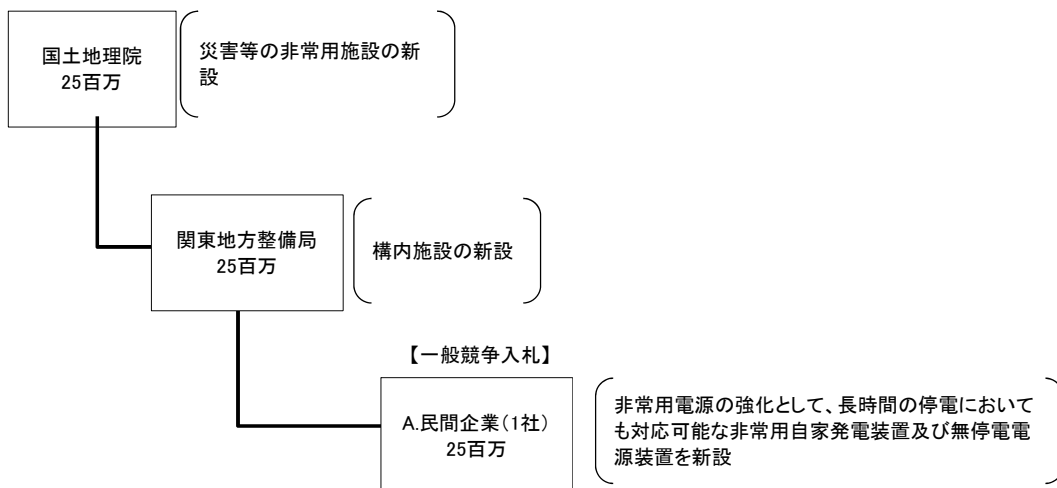
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	国土地理院施設整備に必要な経費		担当部局庁	国土地理院		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	S53~		担当課室	総務部契約課		課長 川井 耕次	
会計区分	一般会計		政策・施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国土地理院が使用する施設の維持及び東日本大震災により被害を受けた施設の復旧のため必要不可欠な施設の改修を行い、土地の測量と地図の調製に関する唯一の国家機関として国土の管理、領土の明示に関する情報の安定的な提供を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○非常用電源(自家発電機装置含む)の増強</p> <p>東日本大震災では、電力の供給が停止しその復旧まで約15時間を要した。その間の業務継続は非常用電源装置からの電力供給で実施したが、非常用照明、情報提供サーバー等に優先的に電力を供給されるため、その供給能力の不足から、ほとんどの防災業務用PC等に電力の供給ができない状況に陥り、初動における災害情報の収集や防災情報の資料提供に支障が生じた。これらのことから、長時間の停電においても対応可能な非常用自家発電装置及び無停電電源装置を新設する。これにより業務継続力が強化され、災害対応・復旧活動等に必要な地殻変動・地理空間情報の迅速な収集・提供が可能となり、国民の生命と財産を守る一助となる。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		繰越し等	92	66	63	62	186
		補正予算	-	-	-	-	-
		計	20	69	-	38	-
	執行額	112	135	63	100	186	
執行率(%)	109	133	25				
97.3%	98.0%	39.9%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	施設の維持等のための経費であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。			成果実績			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	施設の維持等のための経費であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。			活動実績 (当初見込み)			
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	62	186				
計	62	186					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地図と測量に関する唯一の国家機関として国土の管理、領土の明示に関する情報を安定的に提供するために国の責務として実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		—			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	改修を実施した施設は、十分に機能を発揮している。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	改修を実施した施設は、十分に機能を発揮している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	改修を実施した施設は、十分に機能を発揮している。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きコスト削減に努めながら、確実に実施していく必要がある。またこれまでと同様に契約方式についても、透明性・公平性・競争性の高い発注方法、発注先の選定に努める。 予算の執行状況等について、支出委任先の地方整備局を通じて確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また資金の流れの検証ができるように、工程管理を通じて実施内容、支出先及び使途について明確に確認できるよう適宜確認を行っている。 					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	引き続きコスト削減、競争性・公平性の高い発注先の選定方法の実施に努めて、整備を進めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	優先順位(緊急性の高さ)を精査しコスト削減及び競争性・公平性の確保等に配慮しながら、順次各施設の整備及び修繕を実施していく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	452	平成23年	426	平成24年	457

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)中電工			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	国土地理院(12)電気設備改修その他工事	25			
計		25	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)中電工	国土地理院(12)電気設備改修その他工事	25	2	99.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					